

中医臨床カンファランス

2025年3月

69歳 男性

主訴：腹満感、動悸

X年5月初診

もともと胃腸が弱い体質で、以前から腹満感がやすい。

腹満感がだいたいいつもあって、強くなると、その影響で心臓が圧迫される感じがして、動悸が出る。腹満感がないときは、動悸は出ない。病院で相談をしているが、なかなか改善しない。心房細動がある。

β 遮断薬を服用すると動悸がおさまる。意識がなくなって倒れたことがある。

もともと胃腸が弱い。胃と大腸の検査は異常ない。

のどが渇きやすく、冷たいものが好きである。

暑がりである。

足がむくみやすい。足がほてる。

汗が多くて、特に寝汗が多い。

腰痛があって、冷えると悪化する。

頻尿傾向、夜間2－3回排尿のためにトイレに行く。便2日に1回でる。
飲酒はしない。甘いものや油物は比較的好きである。

中背でやや肥満傾向。

舌：淡紅、地匚状、舌下静脈怒張＋

脈：滑、弦、

腹診：腹力中等度、やや腹満傾向、胸脇苦満あり、心下痞軽度あり、腹皮拘急あり、
少腹不仁あり

PH)高血圧で降圧剤服用中。

心房細動治療中。

意識がなくなって倒れたことが数回あってペースメーカーがはいっている。

前立腺肥大手術歴あり。

脊柱管狭窄症手術歴あり。

腹満感：鼓脹；

肝脾が木鬱克土になり、気滯、湿阻、湿熱、寒湿、血瘀、陰虚などが生じて、肝脾腎が失調して、気滯、血瘀、腹中の水停留が見られることが多い。

病因病機：酒類飲食不摂生、情志による内傷、感染、そのほかの疾病など

弁証：気滯湿阻、寒湿困脾、湿熱蘊結、肝脾血瘀、脾腎陽虚、肝腎陰虚

動悸・心房細動：心悸；

怔忡（内因：心血虚、陰虚、瘀血内阻、心陽虚、脾腎陽虚による水邪、湿熱）、

驚悸（外因による驚きなど）

弁証：心虚胆怯？、心血不足、気滯瘀血、肝鬱痰濁、肝腎陰虚、心腎陽虚など？

69歳 男性：腎虚？

腹満感：気滞湿阻、寒湿困脾、湿熱蘊結、肝脾血瘀、脾腎陽虚、肝腎陰虚

動悸・心房細動：心虚胆怯？、心血不足、気滞瘀血、肝鬱痰濁、肝腎陰虚、心腎陽虚など？

胃腸が弱い：脾胃虚

のどが渴いて冷たいものが好き：外感風熱、陰虚、裏熱実証、湿熱

暑がりやで寒がり：気虚？・衛気虚？、陰陽両虚

足がむくみやすい：風水氾濫、湿毒侵淫、水湿浸漬、湿熱？、脾陽虚衰、腎気衰微

足がほてる：陰虚

汗特に寝汗が多い：陰虚火旺、風熱寒、気虚、邪熱鬱蒸、湿熱

腰痛＋冷えると悪化する：腎陽虚、腎虚？

夜間2－3回トイレ：腎気不固、膀胱湿熱、肝鬱

便秘2日に1回：血虚？、陰虚？、脾胃虚・気滞、瘀血

甘いものや油物は好き：食積

舌：淡紅、地凹状、舌下静脈怒張、脈：滑、弦：血虚？、陰虚？、瘀血、湿、肝鬱

腹診：腹力中等度、やや腹満傾向、胸脇苦満：肝鬱、心下痞、腹皮拘急、少腹不仁：腎虚

高血圧：肝火上炎、肝陽上亢、肝腎陰虚、痰湿阻滯、気滞血瘀

前立腺：腎陽虚、膀胱湿熱、肝鬱気滞、血瘀阻塞、脾気虚

脊柱管狭窄症：腎虚

体質、ストレス、疲労、食生活、年齢から、肝鬱気滞血瘀、心血瘀阻、肝脾不和、気血両虚、心血不足、肝腎陰虚、腎陽虚、水飲困脾凌心、湿熱蘊結が出現して発病？

中医病名：鼓脹、心悸

弁証：①肝鬱気滞血瘀・②心血瘀阻・③肝脾不和・④気血両虚・⑤心血不足・⑥肝腎陰虚・⑦腎陽虚・⑧水飲困脾凌心？・⑨湿熱蘊結

治法：①疏肝理気活血化瘀・②活血化瘀理気通絡・③疏肝健脾・④気血相補・⑤補血養心・⑥滋養肝腎・⑦温補腎陽・⑧化気行水？・⑨清熱利湿

方剤：①③四逆散、大柴胡湯、②桂枝茯苓丸、冠元顆粒、③⑨白虎加人參湯、⑥⑦八味地黄丸、①⑤加味帰脾湯、④⑤⑥炙甘草湯、⑧苓桂朮甘湯、⑧⑨木防已湯

初診時に、八味地黄丸・白虎加人参湯 1 p 1 × 朝、桂枝茯苓丸・四逆散 1 p 1 × 夕を処方。

1 か月後

大分いい、腹満感（－）、心臓圧迫感（－）、動悸（－）、便秘＋、夜間2回トイレいびきをかく、SAS検査では軽度といわれた

2 か月後

便が軟らかくなりすぎる、腹満感（－）、心臓圧迫感（－）、動悸ときどき＋。
夜間トイレ不変2回以上、ユリーフを飲んでいる。

3 か月後

腹満感＋－、動悸＋－、便秘したときはお腹がはる。食べ過ぎるとなる週1回くらい。
便は少し軟らかい。デパスを開始してから夜間トイレが減った？、腰痛＋。

4 か月後

口の中が荒れ気味、歯がしみる、固いものが咬みづらい、歯科で相談予定、悪化している
腹満だいたいぶよい、動悸（－）、便通よい、腰痛＋、腰の手術をした、癒着している。